

大山『山開き』・清水屋かき氷実食体験！！

子供たちが夏休みに入り多くのお客様で賑わう大山で、江戸時代元禄年間より300年間も続く、下社の登拝門を開ける『山開き』が開催されました。

これは日本橋小伝馬町の「お花講」(信徒の団体)に代々伝わる神事で、今朝も白い行依を着た 51 人の善男善女が開扉の儀式を執り行い、夏山期間中の安全登山を祈願しました。

さて、江戸時代からの伝統行事からの帰路、現在の大山で今一番熱く盛り上がっているお店、大山駅の清水屋さんを訪ね、懸案だった話題沸騰のかき氷をいただいて参りました。



落語の世界さながらに講元さんを先頭に「散華、散華、六根清浄」と掛け声を合わせて下社への階段を進みます。



毎年7月27日から8月17日までの20日間を夏山と言い、江戸時代まではこの期間しか阿夫利神社本社のある山頂へは登れませんでした。



普段片側しか開いていない山頂へ続く登拝門を全開させました。



当初の案内どおりに注文から30分で、一番人気の「つぶつぶいちごミルク」登場！

高さは優に30cmを超え、容器からはみ出る超ビックサイズにまず驚愕。

非常にきめ細かい氷ゆえ、溶けるのも非常に早いため、撮影もそこそこ逆光も厭わずにてっぺんより攻略です。



奮闘 15 分間。

受け皿にはこぼれましたが、すべての氷とトッピングされたいちご果肉入りのシロップ, さらに奥に潜んでいたコンデンスミルクを飲み終え、伊勢原市内のみならず県央地域で一番と言われるかき氷を堪能することができました。